

令和 7 年 1 1 月

水内地区町内会連合会定例会での説明（跡地活用） 発言要旨

○ 水内地区町内会連合会（会長）

各町内会で全戸にアンケートを取り、跡地活用に係る意見やアイデアを出してもらっている。後日、結果を（市に）提供する。

○ 水内地区町内会連合会

跡地活用の検討スケジュールに関して、湯来東小学校については、完全なる統合を決めたわけではなく、5年後の保護者が砂谷に行くか（統合するか）どうかを判断するという認識である。そのため、5年後あるいはそれ以降も湯来東小学校は残っていく可能性もある。その判断に先行して、例えば、民間事業者への公募というのはされるべきではない。跡地活用についての検討をどこまで具体的に進めるべきなのか、時期尚早ではないかとも思う。湯来東小学校については、そうした状況の中でどのように議論を進めようとしているのか教えていただきたい。

※ 教育委員会教育企画課

まず、大きな方針等が決まる前に、あたかも方針等が決まっている前提で（行政が一方的に）民間事業者の公募を行うことはしない。はじめに議論すべきことは議論した上で、（民間事業者の公募等の）次のステップに進むこととなる。また、湯来東小学校の保護者や水内地区の地域の方々が大切にされてきた湯来東小学校への思いや愛着、地域とのつながり、新設校について通学面での安全・安心等についても、今後も引き続きしっかり検討した上で、これまでも開催してきた意見交換会等を通じて議論していきたい。その上で、あくまでも（湯来地域における小・中学校のあり方の検討の）大枠としては、こどもたちへの一定の教育環境を確保するといった観点も含めて将来的には全ての小・中学校を統合した小中一貫教育校を設置するというのがある中で、湯来東小学校についても、統合時期等の結論を待つ、言い換えればそれまでの間は跡地活用について何も検討しないということではなく、他4校の跡地・跡施設の活用の検討と敢えて切り離すことなく、大きな動きとしては湯来東小学校も一緒に検討を進めてはどうかと考えている。ただし、跡地活用の検討を進めることで、保護者や地域の方々の思いを軽視しているわけではないため、ご指摘いただいたような意にそぐわない進め方にはならないよう配慮しなければいけない。ご質問に対して明確な回答にはなっていないかもしれないが、跡地活用の検討の議論をもって、学校統合に関する議論を何かありきで進めたいという意図ではないことはご理解いただきたい。

○ 水内地区町内会連合会

湯来東小学校が残るかどうかなどというのは現時点では分からないし、未来の（これからの世代の）保護者が判断すべき内容もある中で、私たち（今の世代）が議論すべきことは何なのかということを明確にして議論すべきだろうと思う。何かそこが曖昧なままで議論して、果たして意味があるものになるかどうか心配だったため質問した。その辺りについては今後とも検討いただけたらと思う。

○ 水内地区町内会連合会

開校準備会議の跡地活用部会は、どのような方が出席しているのか。

※ 教育委員会教育企画課

まず、開校準備会議全体では、各地区（水内・上水内・砂谷）の町内会連合会会長等の地域の方や各学校の PTA 会長等の保護者の方を中心に、二十数名程度出てもらっているが、その中で部会に分けて議論する内容があり、跡地活用部会については、主に地域の方を中心に出席してもらっているところである。

○ 水内地区町内会連合会

（跡地活用部会には）PTA も出席しているのか。

※ 教育委員会教育企画課

大きな括りとしては地域の方を中心に出席してもらっているが、保護者の方も希望すれば出席してもらえる運用としており、例えば、湯来東小学校 PTA 会長は出席している。

○ 水内地区町内会連合会

会議に 16 名しか参加していないというのはどうか（少ないのではないか）と思う。

※ 教育委員会教育企画課

開校準備会議は、いわゆる代表制で運営させてもらっている。会議としては、各関係団体の会長等に出席してもらい、その方に地域内・団体内での情報共有や意見集約をお願いすることを基本としつつ、必要に応じて個別説明等の対応を行いながら検討を進めている。このように会議には会長等の代表者にのみ出席してもらっているため 16 名という数字が少ないように思えるが、その後の地域内・団体内には基本的には会長等を中心にご協力いただきつつ、会長等の動きに応じて必要があれば行政もそこに関わらせてもらうという運営をしている。

○ 水内地区町内会連合会

会議の参加人数が少なすぎると思う。湯来東小学校 PTA・水内地区の地域住民との意見交換会についても、前回の参加人数が少なかった。開催案内は 1 ヶ月前ぐらいにしないと人は集まらない。1 週間前など降ってわいたようなやり方ではいけない。この跡地活用部会はどうだったのか。

※ 教育委員会教育企画課

開校準備会議は、湯来東小学校 PTA や水内地区の地域の方々との意見交換会とは運営の仕方がやや異なり、まず、（年度の始めに）先ほど説明した代表者に会議への参画依頼（構成員の就任依頼）を行った上で、会議の日程についても概ね 1 か月前には開催案内ができるよう日程調整等の事務を進めている。湯来地域全体という広い範囲での議論となるため、運営面等を考慮して代表制としているが、開校準備会議では代表者がそこで何かを決めるというよりも、会議の場では代表者に行政から説明したり意見交換したりしているが、その内容を地域内・団体内に持って帰って情報共有等をしてもらい、もしそこで質問や意見等が出れば、また代表者に持って来てもらうような形を取っている。繰り返しになるが、その上で、本日の説明会のように、（会長等からのご要望やご提案があれば、）必要に応じて個別説明等を行っている。

○ 水内地区町内会連合会

湯来東小学校は緊急避難場所にもなっている。仮に、民間に売却されてしまった場合には避難場所が無くなってしまうがどう考えているのか。

※ 教育委員会教育企画課

説明資料では、地域住民の意向、地域住民による利用というような広い表現で記載しているが、避難場所等の地域におけるライフラインは大変重要であるため、そこを考えずに民間に貸したり売却したりすることはない。それ以外で（地域にとって大事な部分は確保した上で）、有効活用できるところについて、地域が民間活用を希望される場合には公募するという形が考えられる。

○ 水内地区町内会連合会

説明内容は理解したが、この資料の書き方（表現）だと、行政側が民間への売却を強調しているように感じ、そうすると、地域住民にとっては売却ありきで避難場所もなくなってしまうかのような印象を受けた。

※ 教育委員会教育企画課

資料の書き方については、地域住民による（直接的な）活用だけでなく、民間に公募して有効活用してもらう選択肢もあるという、活用策の幅広さを紹介したつもりであり、民間への売却をしようとしている意図はないが、表現については今後気をつけたい。

○ 水内地区町内会連合会

民間への売却ありきではないということと、先ほどの質問にもあったように、湯来東小学校を統合するかどうかの判断は5年後に決める、そういう理解でよいのか。

※ 教育委員会教育企画課

民間事業者への貸付けや売却ありきではない。また、湯来東小学校の統合時期で言えば、子どもたちや保護者、先生にとっても、例えば11年度に判断してそれにどう対応するというよりも、どうしてもそれぞれに準備期間等があるため、今からの議論の中で大きな方針を決めていく必要があるのではないかと思う。それが、全体としては令和12年度の新設校の開校に向けて動いていくけれども、湯来東小学校に関しては丁寧に議論していくということで、5年間決まらないというわけではないという認識である。

○ 水内地区町内会連合会

本日の説明がなかったら、（跡地活用の検討というのが）湯来東小学校の話も決まっているのかというように受け取られる。そんな話ではなかったはずである。

○ 水内地区町内会連合会

湯来東小学校の跡地活用の話が進んでしまうのは、やはり保護者の目線で言えば、もう決まっているというミスリードにもなってしまふ。そうではないということをしっかり伝えていかないとフェアな判断にもつながらない。そこでもしかしたら、湯来東小学校でもう少し学べたはずの子どもたちが学べない。やはりどうしても、砂谷に通うのが遠い子もいる。そういった子どもが近いところで学ぶ機会が失われてしまう可能性にもつながる。跡地活用は、そこは違う一段二段レベルを下げたところで検討され、本来であれば湯来東小学校がどうしていくか、

より一層活発に議論されるべきだと思う。こういった一つ一つの資料が判断につながってくるので表現等にもご配慮いただきながら、丁寧に対応してほしい。

※ 教育委員会教育企画課

今後の資料の表現等については頂いたご意見を踏まえて配慮したい。まずは、湯来東小学校の統合時期というのは、今後も皆さんのご意見や、新設校についての検討状況も見えながら、保護者も含めて合意形成を経て最終的にどうするかということを決めていきたい。その上で、一段二段下げた段階だとしても、もし統合するのであればどのように活用していくのかということについても、地域の方々の意向を一番に考えながら検討していきたい。そうした色々な検討をする中で、校舎等について民間に有効活用してもらったほうが地域にとって良くなるというような意見が地域の方から出てくれば、公募するという選択肢もあるということで記載している。今後、色々な資料を作成する際には配慮したい。当然、跡地活用の検討は一段二段下がってということではあるが、時期は如何にせよ将来的には全ての学校を統合していくという大きな方向性はまとまっているものと受け止めているため、学校の校舎や敷地についても将来どのように活用したらより良いのか、冒頭にご紹介いただいたアンケートの結果（内容）も踏まえて考えていくことも必要ではないかと思う。同時並行がどうかという意見もあるのは確かだが、それでは全く何もしない方がいいのかということと出来る範囲で検討を進めてはどうかとも考えている。

○ 水内地区町内会連合会

湯来東小学校は、小中一貫教育校に統合されて廃校になるという認識だったが、まだ決まっていないということか。先ほどからの説明にもあるように、協議して検討してというようなことも分かるが、実際に統廃合するかどうかをいつまでに決めましょうという期日はないのか。

※ 教育委員会教育企画課

繰り返しになるが、湯来地域全体の話で言えば、地域全体の人口の減少や少子化等を背景に学校の小規模化が進む中、地域住民主体による学校のあり方についての検討を進めた結果、将来的には全ての小・中学校を統合した小中一貫教育校を設置するというのがあって、その新設校は令和 12 年度の開校を予定している。

○ 水内地区町内会連合会

こどもの数で言えば、今、幼稚園・保育園に何人いて、数年後には小学校に何人いてというのは分かるはずである。教育委員会もそういう数字は把握しているはずである。そうなのに、先ほどからの説明を聞いていると、（統廃合に関して）ご意見があれば、あるいは跡地活用をどうするかというのを期日もなく延々とやっても意味がないのではないかと。地域としても、跡地活用のアイデアは出しても結局学校が継続する（廃校しない）ということになれば、何のために時間を使って検討したのかも分からない。普通は教育委員会でいつまでに廃校となる、あるいは（今の湯来東小学校の協議状況であれば）その廃校の時期をいつまでに決めるというのがあるのではないかと。

※ 教育委員会教育企画課

繰り返しになるが、大きな方向性として地域全体での学校の統廃合が決まる中で、新設校の設置場所を決める際に、湯来東小学校 PTA の関係者から、通学面や、学校がなくなる地域への影響等も鑑みて、その会議の場で、湯来東小学校も令和 12 年度に確実に統合するといった

判断は待ってほしいというような要望があり、そこから、新設校に向けた全体の会議とは別に、湯来東小学校 PTA や水内地区の地域住民との意見交換会を開催している。いずれは、ご指摘いただいたように、ある時期を見据えて議論していく必要があるだろうが、現状、その期日については決まっていない。

○ 水内地区町内会連合会

その時期が見えていないのに跡地活用の検討を進めても現実味がない。統廃合に当たってそういった経緯があって色々な意見を聞いてくれるというのはありがたいが、いつまでに判断しようという期日を決めた方が良いのではないかという話をしている。

○ 水内地区町内会連合会

以前、この小中一貫教育校に関する説明会（湯来東小学校 PTA や水内地区の地域住民との意見交換会）が開催されたが、その後の跡地活用部会の会議について、第1回を昨年11月に開催していて、跡地活用のアイデアが何かありますかということだが、町内会連合会に事前の案内も何もなく、こうした会議があったことも知らない。これをどう考えるのか。代表者に説明したというだけでいいのか。

※ 教育委員会教育企画課

開校準備会議の構成員には、各団体の会長等に代表者として来ていただき、地域内での情報の展開や資料の共有についてもご協力いただいているところであり、例えば行政側で全て直接対応するというのが運営上難しいことはご理解いただきたい。

○ 水内地区町内会連合会

（行政にとって）町内会連合会はどういう位置づけなのか。一応説明しておけばいいということか。それとも色々な意見を求めたいのか。そうであるならば最初から広く声をかけるべきではないのか。

※ 教育委員会教育企画課

説明だけすればいいとは当然思っていないが、直接的にそうした対応が難しいため、会長等に代表者として来ていただいて、その会議の前後で、町内会連合会で言えば、各町内会長や各町内会の皆さんの意見集約も含めてご協力をお願いしている。負担もかかるため任せきりもいけないと思うが可能な範囲でご協力をお願いしている状況である。

○ 水内地区町内会連合会

本日、配布されている議事録（第1回跡地活用部会）は昨年11月に開催されたものだが、約1年後に配られるというのはいり得ないのではないかと。

※ 教育委員会教育企画課

開校準備会議の構成員の方には議事録もタイムリーに送付している。そこから皆さんにどうやって展開されているかといったことまで隅々は把握できていないが、先ほど説明したように、議事録の展開も含めてご協力をお願いしているところである。一方で、皆さんのご意見のように実際に届いていないということもあって、情報の周知については行政側も全く任せきりということではなく代表者の方と話しながら状況に応じた対応を考えていかないとはいけないとも感じている。

○ 水内地区町内会連合会

意見交換会（今年2月に開催した第2回意見交換会）の参加人数も少なかった。それがなぜかということ、自分は1週間前くらいに（意見交換会があることを）聞いたからである。その時も意見を言ったが、1ヶ月前には案内して、みんなに周知された上で意見交換会を開催してほしい。その時の議事録も配布してほしい。フィードバックが何も無い。

※ 教育委員会教育企画課

会議のやり方に（行政側で）決まったルールがあるわけではないため、逆を言えば、本日よりこれまでのご意見を踏まえながらオーダーメイドな形も可能である。ご意見のあった開催案内や議事録についても、会長等と協議させていただいた上で、より良い形を考えていきたい。跡地活用の検討の基本的な考え方や進め方、資料の書き方についての色々なご意見をいただきながら改善していきたいため、今後ともご意見やご指摘などよろしくお願いしたい。

○ 水内地区町内会連合会

意見をいただいて次にこう対応します、と言われても、前回も同じようなことを言われてそのままになっているのではないかと思う。そういう言葉をずっと言われても信頼できない。だから議事録を配ってほしい。普通の会社でも同じことだが、議事録が無いと言ったとか聞いていないとかそういう話になる。議事録では言った感じがちゃんと出るようにして自分の都合の良い解釈にならないようにしてほしい。賛成意見も反対意見もあるだろうが、それがあから会議を開いているのである。そうした中でお互いが寄り添って、こういうことにしましょうというのがあるならば分かるが、議事録も何もありません、会議も急にやりますよということではいけない。基本的なところはしっかりやってほしい。

○ 水内地区町内会連合会

資料にある、令和7年度に方向性を取りまとめるというのは、湯来東小学校の存続か統合かを取りまとめるという意味合いか。

※ 教育委員会教育企画課

本日の資料（跡地活用部会の資料）の意味合いは、跡地活用についての地域の意見等の方向性を、まず見える化したいという趣旨であるため、湯来東小学校の統合をどうするかという意味合いではない。

○ 水内地区町内会連合会

昔（学校が）できたときは、学校を作るならば（土地を）寄付してあげるという経緯があって、街の方の団地の学校とは違って、やはり地域住民の意見を聞いて欲しいので、アンケートを取ってみんなに（アイデアや意見を）聞いたということは知っておいてほしい。また、教育委員会では、小学校の統廃合の基準はないのか。入学生が何人以下とか、それが何年続いたらとか。そうでなくても、湯来地域については町内（の小・中学校を）全部一緒にするという方針があったと思うがどうか。

※ 教育委員会教育企画課

広島市教育委員会では、学校の統廃合の基準を定めていない。市の方針として、学校が地域において重要なものであるという考えの下で、学校の統廃合を、単に学校の問題だけで、基準

によって杓子定規に決めるのではなくて、地域のまちづくりの観点も十分に踏まえながら考える中で、しっかり地域の方にも理解してもらいながら検討していくこととしている。湯来地域では地域住民主体の検討が進められた結果、将来的には全ての小・中学校を統合した小中一貫教育校を設置することとなった。

○ 水内地区町内会連合会

20 年くらい前に聞いた話だが、砂谷中学校の敷地には私有地があると聞いたがどうか。それから、佐伯区長は廿日市市や安芸太田町と連携すると言っているところ、跡地活用でスーパーを設けてほしいといった意見もある。廿日市市はスーパーができた。湯来ではそういったことは考えたか。また、旧湯来西小学校区の児童のスクールバスについても間際にならないとできていなかったが、統廃合が決まっているならば早くやらないといけなかったのではないかな。教育委員会がああいう対応ではいけないと私は思う。地域側もスクールバスを出すように要望して、それからスクールバスが走ったがそれではいけないのではないかな。

※ 教育委員会教育企画課

まず、砂谷中学校の私有地の件については現状把握していない。廿日市市や安芸太田町との連携という点については跡地活用による地域の活性化の観点だと思われるが、水内地区として、他地域からの呼び込みや地域住民の利便性向上にもつながる活用策を目指すということであれば、それに向けてしっかりと寄り添って一緒に検討していきたいと考えている。具体的な検討を進めようと思ったときに、実際には予算や制度の制約等も出てくるかもしれないが、地域の意向と同じ方向を向いて議論を進めていきたい。また、スクールバスについては、たしかに先行統合（旧湯来西小学校の湯来東小学校への統合）が短い期間での対応となる中でご負担をかけたりご不安に思わせてしまったりしたが、地域の方から頂いた要望を真摯に受け止め、令和 7 年 1 月からスクールバスを運行しており、（統廃合に伴う）本格的なスクールバスの運行というのは本市では初の事例となる。地域の方のご要望等を受けながら少しでも改善できるように検討していきたい。

○ 水内地区町内会連合会

各町内会長のほとんどは任期が 2 年である。実際に令和 6 年度から（令和 7 年度の間で）半分が代わっている。そうすると、前にこういった説明をしたと言われても、本日のような資料が無かったら町内会の中でも引き継げずに、結果として話を何も聞いていなかったということになり意見にもばらつきが出てしまう。当然 2 年先にはまた会長が代わるということになる。これは水内地区（地域側）だけではなくて教育委員会（行政側）も同じで、例えば、新設校が開校する令和 12 年度まで課長や担当者が残っているかと言われれば分からないという話だろう。そうした中で誰がどこで責任を取りながら話を進めているのかという話にもつながってくるので、連絡（情報の共有）は密にしてこまめに動いていかないと、（会議を開いても）知らなかったという意見ばかりが出てしまって、結果的に上っ面の話だけになってしまう。学校の統廃合の話自体も、この水内地区を含め湯来町の人たちが広島市に対して統廃合を要望したのか、あるいは現状や課題を踏まえて教育委員会が統廃合を提案したのかということも（今年度から会長になった人は特に）何も分からないということになる。だから、何でこういう話になったのかという思いの方が強くなる。対応の難しさもあるとは思いますが、その辺りも踏まえての最初の説明が足らないのではないかなと思う。（学校の統廃合に）反対だけどうしょうがないねと済むのか、それともしっかり議論する中で理解（納得）していくのか、これからどう対応するのかで変わってくるのではないかなとも思う。現状は不安の方が大きい。

○ 水内地区町内会連合会

（本日配布された、跡地活用部会の）第1回の議事録は全戸配布してもよいか。

※ 教育委員会教育企画課

全戸配布していただいて問題ない。

○ 水内地区町内会連合会

その際、まだ（湯来東小学校の）統廃合は決定ではありません、水内地区のこどもは小中一貫教育校が出来てもこの新設校に必ず行かないといけないことではありませんということを一筆追記してもよいか。

※ 教育委員会教育企画課

大枠の経緯として、地域全体として取りまとめられた提言書の内容を踏まえて、将来的には全ての小・中学校を統廃合（した小中一貫教育校を設置）するというのがある。そうした中、湯来東小学校については、新設校が開校する令和12年度に統合するかどうかという統合時期については、地域から柔軟に対応してほしいという要望があったことから議論を続けているところである。

○ 水内地区町内会連合会

そこが根本的におかしいのではないかと思う。統廃合の時期が決まっていない、存続するかもしれない、いやいや統合する、それは令和12年度かもしれないしそうではないかもしれない。そこが決まっていないのがおかしい。そこを早く決めないと、跡地活用の検討も、これが5年後の話なのか10年後の話なのか分からないということになる。統廃合するならいつします、あるいは統廃合はしませんというのを今の段階で決める必要があるのではないか。

○ 水内地区町内会連合会

（本日のやり取りにもあったように）資料だけではそうした状況が伝わらないため、一筆書いておく必要があると思うがどうか。書く場合にはどういうふうに書けばよいか。

※ 教育委員会教育企画課

（跡地活用部会の）第1回の議事録の、議事要旨の上から2つ目に「湯来東小学校の統合時期については～」という記載がこれにあたると思うが（この表現を使われては）どうか。

○ 水内地区町内会連合会

やはり、PTAの意向（要望）を聞いて柔軟に対応してもらいたいとは思いますがいつまでに結論出すという話がないといけないのではないかと思う。特に跡地活用の検討については話が進まないし熱を入れにくい。

※ 教育委員会教育企画課

跡地活用の検討については、正直、湯来東小学校については切り離して（跡地活用の検討を）保留にすべきかどうか悩んだところではあるが、あえて初めの段階から明確に切り離します保留にしますというのもどうかと思い、同時並行的に議論を進めている。また、統合時期に関する議論についても、湯来東小学校の保護者や水内地区の地域の方々が大切にされてきた

湯来東小学校への思いや愛着、地域とのつながりといった課題ももちろん考えていかないといけないが、新設校について通学面での安全・安心や例えば湯来東小学校で行われてきた教育内容や伝統をどう引き継いでいくか等については、今からしっかり検討して示していける部分もあると考えている。

○ 水内地区町内会連合会

検討はいいが、その結果、いつまでに決めましょうというのがないといけない。地域住民に気を使って色々なものを検討しますというのはありがたいが、決めるべきところは決めないといけない。

※ 教育委員会教育企画課

本日の段階では、今後の重要なテーマとして今からの議論に生かしていきたいということしか言えない。これまでの会議に代表者として出ている方や保護者も含めて、色々な方に色々な思いがあると思うのでその辺りも聞きながら考えたい。全体としては将来的には全ての小・中学校を統合するというのがある中で、まずは統合に当たって懸念されている点、不安に感じられている点の解消に向けて努力していく必要があると考えている。その上で、ご指摘いただいているような統合時期はいつか、また、その時期をいつまでに決めるかといったこと等についても、本日の意見を受け止めてしっかりと考えていきたい。

○ 水内地区町内会連合会

以前開催した意見交換会の議事録も提供してもらえるか。

※ 教育委員会教育企画課

本日の議事録と合わせて、第1回・第2回の意見交換会の議事録もお送りする。

○ 水内地区町内会連合会

本日の内容を小中一貫教育校開校準備会議にもフィードバックしてもらえるか。

※ 教育委員会教育企画課

本日色々なご意見をいただいたが、まず、跡地活用に関する動きについては、アンケート結果（意見やアイデア）も含めて、取りまとめた上で跡地活用部会に出したいと考えている。また、そうした中で、ご指摘いただいた統合時期に関する議論との関係（表現の配慮等）についても十分に踏まえながら資料の作成や説明を行う。跡地活用以外のご意見（のフィードバック）については、全体の場で全ての資料を共有する（フィードバックする）ということではないのかもしれないが、関係者等に共有すべき内容は共有したいと考えている。

○ 水内地区町内会連合会

できるだけ共有した方が良く考えているのでご検討いただきたい。

○ 水内地区町内会連合会

町内会の回覧用として資料をまとめて、回覧できるようにしたらよいのではないか。

※ 教育委員会教育企画課

情報共有のため議事録をお送りする。

- 水内地区町内会連合会
全員に知らせるべきだと思うがどうか。
- ※ 教育委員会教育企画課
行政側で全戸配布という対応は難しいため、やり方も含めて再度会長等に相談したい。
- 水内地区町内会連合会
町内会側で印刷する負担も考慮してほしい。
- 水内地区町内会連合会
それが決まるまで本日の資料は配らない方がいいのか。
- ※ 教育委員会教育企画課
本日の資料は配布していただいても構わない。
- 水内地区町内会連合会
行政側で全部印刷してほしいがどうか。回覧であっても、町内会毎で違う対応をしない方がいいと思うため、回覧に必要な部数は行政側で印刷してほしいがどうか。
- 水内地区町内会連合会（会長）
これまでの議事録は公開されているのか。
- ※ 教育委員会教育企画課
開校準備会議では、資料や議事録についてホームページ等で公表しているわけではないが、構成員の皆さんには、地域内・団体内での情報共有等にそのまま使っていただいてよい、つまりは公開という前提で配布している。
- 水内地区町内会連合会
本日の資料について、すぐに回覧する町内会がいたり行政の対応を待ってからまとめて回覧する町内会がいたりということになってはいけないのではないか。
- ※ 教育委員会教育企画課
今この場で対応を決めたらどうかという趣旨か。
- 水内地区町内会連合会
そのとおりである。どちらの対応でもいいということで（この会議が）終わってしまうと、町内会毎の判断でばらつきが出てしまう。
- 水内地区町内会連合会（会長）
それでは、各町内会で回覧できるように議事録を65部印刷して送ってもらうということでお願いしたい。各町内会は、基本的にはそれを待ってから回覧する。ただし、各町内会長が取り急ぎ本日の資料を情報共有したいということであればそれを止めるものではない（各町内会長の判断で対応していただいてよい）、という整理ではどうか。

※ 教育委員会教育企画課

本日の議事録も含めて（まとめて）ご提供したい。議事録作成に一定の時間がかかることは予めご了承ください。

○ 水内地区町内会連合会

水内地区の住民はほとんどが湯来東小学校の卒業生であり、それだけ関心が高いということはあらためて知っておいてほしい。

（以上）